



悪魔が祈りを止める 方法

靈的領域における戦い

(COMBAT IN THE HEAVENLY REALM)

John Mulinde 氏 2000年11月 オーストリア(Obsteig)にて

www.DivineRevelations.info/JAPAN

ある救われた人の証を分かち合いたいと思います。その人は悪魔に仕えていた人でした。その人が証をした後、私にはその証がとても挑戦的でした。その証を信じたくなかったのです。主に十日間、これは本当なのですか、と主に聞くために断食をしなければなりませんでした。そして主は私たちが祈る時、何が起きているのか靈的な領域を教え始めてくださいました。

その男性は彼の両親がルシファーに彼ら自身をささげた後、生まれました。まだ彼が子宮の中にいたとき彼の両親はルシファーに捧げるためにたくさんの儀式を行いました。彼が4歳になる頃、靈的な力を試し始めました。彼の両親は彼を怖がりはじめました。6歳になると彼の父親は魔法使いに降伏し、トレーニングに行きました。10歳のときには、彼は悪魔の国で偉大なことをしていました。魔法使いは彼を恐れていました。

まだ彼が若い頃、自分がしていることについて恐れていました。20代のときには彼の手で流血がなされる痛ましい出来事も経験しました。気の向くままに殺していきました。また現実世界などを超えた瞑想を通して、自分の体から抜け出す能力も持っていました。自分を空中に浮かせることもできました。また地面から自分の体を上昇させ、空中にとどまることもできました。また失神して自分の体に戻ることもできましたし、自分の体をおいて、空中旅行に行くこともできました。彼は悪魔によってたくさんの教会と破壊し、崩壊することに用いられ、たくさんの牧師を破壊してきました。



ある日、彼は祈りで満たされている教会を破壊することを割り当てられました。教会にはたくさんの部門があり、また混乱がありました。彼はその教会で働くことになりました。しかしそのとき、同時に牧師が教会全体に断食を呼びかけました。教会が断食を始めると、たくさんの悔い改めと和解がありました。人々は調和がとれるようになり、主である神様を中心におく働きのために、祈りました。彼らは引き続き、とりなしをして、神様のあわれみがありますように、また神様が彼らの命の中に入ってくださるよう祈りました。数日経ったある日、彼は悪魔の霊とともに、何度もこの教会に来ました。教会には、この教会を攻撃している闇の力と戦うために、そしてクリスチャンが立ち上がるために戦いが来ているという預言者の言葉がありました。

ある日、その男性は自分の体を自分の部屋において、空中旅行に出かけました。彼はこの教会に強力な悪霊をリードしました。これが彼の証です。彼の霊が教会の上に移動し、教会を攻撃しようとしていました。しかし、教会は光で包まれていました。突然、天使の軍が悪魔を攻撃して、空中でバトルを繰り広げました。そしてすべての悪魔は逃げ、彼は天使によって捕らえられたのです。

そうです、天使に捕らえられたのです！彼は6人の天使につかまれていて、教会の祭壇の右前の

天井まで連れて行かれました。彼がいるところには、人々が祈っているのがみえました。人々は霊的な戦いの中で、深い祈りの中にいました。彼らは団結して、悪魔を追放し、打ちのめしていました。牧師は教壇に立って、霊的な戦いと祈りをリードしていました。聖霊が牧師に言いました。「束縛は打ちのめされました。犠牲者があなたの目の前にいます。救いを通して彼を助けなさい。」牧師が目を開くと意気消沈した若い少年がいました。彼の体は教会にあり、彼の霊もその体の中にあいました。彼は、どうやって自分の体と霊を一体化できたのかわからない、自分の体は彼の家においたままにしたのだから、と言いました。しかし、彼の体は実際にそこにありました。彼は、自分の霊がどうやって体の中に入ったのか、そして、天使がどうやって彼の体を教会の上から屋根を通して運んだのかわかりませんでした。



これらのことは本当に信じるのに難しいと思いますが、牧師は教会の人々を沈めさせ、主が牧師になんと言ったのか、牧師は教会に言い、またその若い少年に聞きました。「あなたは誰なのでしょう？」若い少年は、震えていました。悪魔が彼から出ようとしていたのです。教会の人々は彼の救いを祈り始め、それから彼は彼の生涯を分かち合い始めました。現在、この少年は主の御前に来て、福音を広め伝道しています。彼は力強く主に用いられ、救いを通して、人々を自由にしていきます。

ある日、私、(ムリンデ ジョン)は外食しました。外食した唯一の理由は誰かが私にこの若い少年について教えてくれたからで、私は彼をみたいと好奇心がありました。そしてこの話が本当かどうか確かめたかったのです。私は夕食をとるため席にすわり、この少年がこの証を話す機会を与えられました。彼はたくさんのことについて話しました。彼は自分のしてしまったことについて時々泣き、それが終わると訴えました。

その部屋にはたくさんの牧師がいました。少年は言いました。「牧師さんたち、あなたたちに訴えます。人々に祈る方法を教えてください。祈り方を知らない人々は、すべて持ってかれます。悪魔にすべて持っていかれます。人々の生活、命、祈りにつけ込むたくさんの方法があるのです。敵は祈り方を知らない人々の祈りにつけ込んでくる方法を知っています。神様が与えてくださっている霊的な鎧を使う方法を教えてあげてください。」

それから彼は空間で彼がどのようにリードしていたのか分かち合いました。彼は悪魔的な仲介者やたくさんの悪霊のところに行きました。それは仕事のシフト制のようなもので、外に出て自分のシフトを働いていました。なので定期的に彼は外に行かなければならず、天国に対しての戦争を遂行しなければなりません。そして彼は霊的な領域において、もしその土地が厚みのある岩のような暗闇の毛布にくるまれているのなら、そしてその毛布がその全域を覆っているのなら、その霊は上と地上まで及び、そのレベルになると、地球での出来事を彼らが支配するようになります、と言っていました。



悪霊と悪魔的な仲介者がその遂行シフトを終えると、地球上にある契約の地へと降りていきます。水や契約の場所である土地でさえも、悪魔達は霊的にリフレッシュします。どのように彼らは霊的なリフレッシュをするのでしょうか？それは祭壇にある供え物によってです。以下になるようなものもいけにえになりうります。魔術、中絶を含んだ血を流したタイプのもの、武力衝突、人間のいけにえ、動物のいけにえです。またすべてのふしだらなことがされている場所、性的悪用がなされている場所もいけにえとなりうるのです。



彼は言いました。悪魔的仲介者は天国の領域まで上がり、そしてクリスチャンは地球で祈り始めるとき、クリスチャンの祈りは三つの形になって現れると言っていました。すべての祈りは煙のように天国へとあがります。

いくつかの祈りは煙のようで、空中に漂い消えます。これらの祈りは、罪を犯している人々からきて、その人々は罪を対処しようとしません。彼らの祈りは弱く、吹き飛ばされて空中に消えます。

ほかのタイプの祈りもまた煙のようで、この岩まで届き上がっていきませんが、この岩を砕き通過しません。これらの祈りはたいて、こういう人々から来ます。自分達の罪を自分で取り除こうとする人々です。彼らは祈るときに彼らが何をしているのかということにおいて、信仰にかけているのです。たいてい彼らは祈るときに必要な他の大切な側面を無視しています。



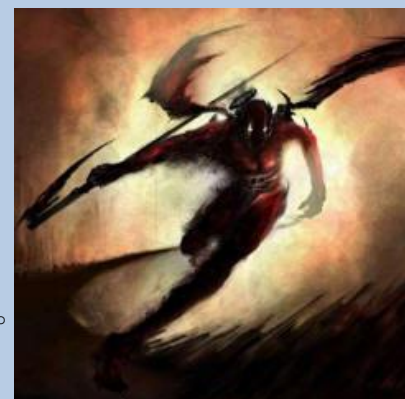
3つめのタイプの祈りは、火によって満たされている煙です。それが上ると、岩に触れる時、とても熱いので、岩がワックスのように溶け始め、岩を突き抜け、通過します。

人々が祈り始める時に、彼らの祈りは一番目のタイプになりますが、祈り続けることによって、祈りは変わり、二番目のタイプになっていきます。そしてまたさらに彼らが祈り続けることによって、突然、火が点火して、彼らの祈りはパワフルになり、岩を突き通すようになるのです

何度も、悪魔の仲介者達は、祈りが変化していき、祈りに火がついた状態に変化しそうなるのに気づきます。そしてこれらの仲介者は地球上にいる他の霊とコミュニケーションをとって命令するのです。「**彼らの気を紛らわせ。祈りをやめさせろ。彼らを引き抜け、撤退させろ**」

多くのクリスチャンはこのような迷惑な邪魔なもの、気を散らされることに明け渡してしまっているのです。彼らが困難を押し分けて進み、悔い改め、霊的成長のために、聖書の言葉を用いて点検すると、信仰は成長していきます。彼らの祈りはますます焦点を当てたものになっていき、そして悪魔は彼らの祈りが力を増しているのに気づきます。そして悪魔の破壊が始まるのです。電話が鳴ったりします。時々私たちは強い祈りの中にいます。電話が鳴ると、あなたは電話をとりになくなくては、と思うのです。そして戻り祈り続けます。あなたが戻って来た時、また祈りは初めから戻るのです。これが悪魔が欲していることなのです。

他の種類の破壊はあなたにもやってきます。あなたの体を触ったり、体のどこかに痛みを生じさせることも意味します。またあなたを空腹にさせたり、台所に言って何かを食べさせるようにすることもあります。彼らがあなたをその場から離れさせることができれば、悪魔はあなたを負かしたのです。また悪魔は牧師にもこういうでしょう。「人々に教えなさい、しばらくの間、祈るのを傍らにおいておきなさい。」と。何気ない祈りだけではなく、一日の残りの時間のすべてをつかって祈



ることもできるのです。一日一回、彼らは、何も邪魔されない環境の中で、心の奥底から神に焦点を置く時間を持つべきです。

もし人々がこのように祈りを続け、霊的に導かれ、さらに祈り続けるのなら、霊的に何かが起こります。祈りの火が岩にふれ、岩が溶け出します。そしてこの少年は言いました。岩が溶け始めると、それはとても熱いため、どんな悪魔も我慢することができないのです。どの人間の霊も触れることはできず、すべて逃げてしまうのです。

そして霊的な領域において開かれる時が来ると、祈りにおいてすべての問題が止まります。地上でお祈りしていた人は、この祈りが突然スムーズになったり、祈りを楽にすることができるようになったり、パワフルで力強くなるのです。私はこの時、たいていの人は自制心を失ってしまうことを発見しました。私たちは無秩序で混乱した状態になってしまうので、神様がこの時間を見守ってくれるのです。しかしこれは、あなたがすべてにゆだね、神様につながっているような状態です。そしてこの少年は、祈りが突き進むとき、妨害するものは全く何もなく、祈りを続けている人はその人が祈りたい限りずっと続けるでしょうと言いました。妨害するものがないため、何も彼をやめさせることができないのです。



また少年は言いました。祈りの後で、空中にある穴はあいたままで、祈っていた人が祈りの場所から歩くときに、その開いたままの穴も彼らの上にあるように動くのです。彼らはもう毛布の下にとどまることはありません。彼らは天国の下にいるのです。その状態では悪魔は彼に対して、したいこともできないのです。主が中心的存在として彼らの中におられ、彼らは守られており、彼らが動くと、内側にあるその中心的存在の主の力も動き、また他の人々へ触れていきます。そして、岩を溶かし、前進突破した祈りをした人は、敵である悪魔が他の人々に何をしたのか見つけるのです。そして彼らがその人々にそのことについて話し、共に立ち上がる時、悪魔が何をしたのか見つけてもらった人々はこの主なる中心的存在の中へ入ることができます。この中心的存在の中にいる限り、すべての敵の束縛は弱まるのです。

なので、霊的に障害となっているものを打開した人々が、罪人である他の人にイエスキリストを分かち合うとき、悪魔の妨害は低いものとなるのです。なので、簡単に分かち合いをもたらすことができるのです。彼らが病人に対して、またはその他のために祈るとき、主の力は霊的に打開する前の時とは違うように働くのです。そしてこの少年は言いました。悪魔はこのような人々を嫌うのです。もし定期的に、岩を溶かし天まで上る祈りが行われる場所には主の存在はそこにおられ、離れることがないのです。なので神さえしらない人々でも、彼らがその場所に入れば突然、束縛は弱まるのです。

もしこのような誰かが、奉仕をしている人たちを愛と忍耐をもってケアをするなら、彼らは簡単に切り抜けることができます。それは力や権力によるものではなく神様の聖霊によってなのです。そして彼は言いました。もし誰もこれらの人々についてだれも悩まなければ、彼らは神様の御前にきて、罪を悟らせられ、明け渡すか、明け渡さないか話し合いを始めます。しかしもし彼らが霊的に切り抜けれられないのであれば、この場所から離れるとき、悪魔の束縛は強くなります。そして悪魔はこのような環境に戻ることをさせないようベストを尽くすのです。

想像に難くないと思いますが、私たちはみな座ってこの少年の話を聞いていました。彼は以前にしていたこと、以前に彼が見ていたことを話しました。それから彼は、祈りにおいて霊的な突破をした人々がしたことを話しました。彼は言いました。そのような人は悪魔に目を付けられ、悪魔は

そのような人々を学んでいました。悪魔たちはそのような人々に対して見つけられるものすべてを丹念に調べていました。なので悪魔は彼らの弱みを知っています。誰かの祈りが岩を溶かし、克服し、霊的に前進すると、悪魔達は他の悪霊と話し、こう言うのです。「これと、これと、これを使って彼をターゲットにしよう。これらが彼の弱みだ。」なので、その人がその祈りの場所から抜け出すと、祈りの霊が彼に注がれ、主の存在が彼の中にあるようになり、主の喜びがこの人の力と強みになります。この人が動くとき、敵は、主から焦点をそらすためにできる何かをこの人にもたらそうとします。

もしその人の弱みが怒りっぽい気質の弱みであれば、敵は人を使って彼をとっても怒らせるように原因をつくります。もし彼が聖霊に敏感に反応しない人なら、彼は怒るでしょう。そして、主なる神様から目をそらすようにします。彼は怒って、怒りくるって、数分後、怒りを追いやって、主の喜びに目を向けようとしませんが、主の喜びをもはや感じなくなってしまうのです。再度、よい気分になろうと試みますが、もはや良い気分には感じなくなるのです。なぜか？誘惑に明け渡すとき悪魔達は上にあるドアを閉めようと一生懸命になるのです。一度、ドアを閉め戻すと主の存在は切断されてしまうのです。その人は、神様の子供をやめる、という訳ではありません。彼の生活にもたらず特別な油注ぎ、彼の力で巧みに操ろうとすることなしにできたその神様の存在からは切断されます。そして悪魔達は弱みはどこかと探すのです。

もしこの人の弱みが性的な誘惑の中にあるとすれば、敵はイベントや人を用意します。また誘惑に直行させてしまう情熱をその人から引き出します。もしその人が自分を誘惑に捧げてしまい、このような考えを受け止める心を開いてしまったら、そしてもし誘惑を楽しみ、これを通り抜けて、油注ぎの中に戻るのなら、彼はそこにはもはや誘惑はないと、思うのです。多分あなたはこう言うでしょう。「そんなの不公平だ。」と。しかし聖書が言っていることを思い出してください。「救いのヘルメットをかぶりなさい。義の胸当てをつけなさい。」私たちは通常、霊的戦いの武器の場所を見ることはできません。しかしイエス様が私たちに教えたことを思い出してください。イエス様は私たちに教えた主の祈りの最後でこう言っています。「私たちが試みにあわず、悪からお救いください。」

祈りをするたびに祈りが突破し、岩を突き破っても、覚えておいてください。あなたはまだ弱い人間なのです。まだあなたは完全にされていないのです。主に求めてください。「神様、この祈りの時間を楽しみました。しかし、この世を歩くときに、誘惑にあわないようにしてください。悪魔の罠に引っかからないようにしてください。悪魔の罠は外に設置されているのを知っています。どのようなかたちで捕われるのかわかりません。私はある領域で弱い部分を持っています。その弱い領域を正しい場所におけば、明け渡したことになります。主よ、お守りください。私が罠にはまりそうになったときには、罠とはちがう方向へ私が向けれるようにしてください。主よ、とりなしをしてください。私が自分の力や能力で動くことのないようにしてください。悪から救い出してください。」

神様はそれをすることができます。有能なお方なのです。だから時々、このようなことが起こると、あなたはこう言う必要があるのです。「ありがとうございます、神様。」と。だから使徒パウロが書いたテサロニケへの手紙ではこう書いてあります。「キリストにあるあなたのために、すべて神様の意志からきていることに、神様に感謝しなさい。」あるものはよいことではありません。痛みを伴いますし、なぜ神様がこれが起こるのをゆるしたのだろうと、疑問に思うかもしれません。しかしもし神様が私たちが救っていることを知っているとしたら、私たちは神様に感謝しましょう。私たちが主に信頼するのをゆだねるとき、私たちはただすべてに感謝するのです。

もっと先に進むのかわかりませんが終わらせることができない何かを始めることは嫌でした。しかし（これから話すことを）もう一歩先に進ませてください。そしてこの男性は言いました。祈

りがこのように突破すると、その答えがいつも来るのです。そして彼は、このように祈りが突破して祈りが答えられなかったケースはみたことがないと言いました。いつも来ますが、しかし、たいのケースは祈りもとめた人に届くことはけっしてないのです。なぜでしょう。それは、空中で戦いがあるのです。悪魔が祈りを通してあけた天国へ通じる空間を断絶するのに成功すると、岩はもとに戻り、悪魔達はこの祈った人を見ます。そして待っているのです。なぜなら悪魔は祈りの答えが必ずやってくると知っているからです。

そしてこの人は私の信仰にショックを与えることを言いました。だから彼が次に分かち合う部分について、私は神に本当かどうか、本当なら示してくださいとたずねるために10日間、断食をしたのです。この人は言いました。どのクリスチャンにも一人、それぞれのクリスチャンに仕える天使がついています。聖書が言うように、天使は私たちにとって仕える霊であることは私たちは知っています。彼は言いました。私たちが祈るとき、祈りは天使の手を通じてきます。ダニエル書にあるように天使が祈りの答えを持ってきます。そして彼はとても信じがたいこと言いました。もし祈る人が霊的な鎧（防具を着ること）について知っている人で、霊的な鎧を身に着けているのなら、祈りの答えは霊的な鎧を十分に装備している天使によって運ばれるのです。

もし霊的な鎧について気かけない人が祈るときは、天使は霊的な鎧をつけないでやってきます。このことについて気かけないクリスチャンは気にしていないのです。戦いをしていないのです。彼らの天使はヘルメットを装着せずにやってきます。どんなものでも地球上で霊的な武器を無視している人はあなたに仕えている天使も武装していないのです。言い換えれば私たちの霊的な鎧は物理的にある私たちの体を守ってはいませんが、私たちの霊的な功績を守っているのです。



そしてこの男性は言いました。天使が来るとき、悪魔は天使をみるのに集中して、どの領域がカバーされていないのか気付きます、そして、悪魔はその領域を攻撃してくるのです。もし天使がヘルメットをかぶっていなかったら、悪魔は頭を打とうとします。もし天使が胸当てをつけていなかったら、悪魔は胸を攻撃します。もし天使が靴を履いていなかったら、火をつくります。なぜなら天使は火の中を歩いてくるからです。私はこの男性が言ったことをもう一度繰り返します。実際に、私たちは彼に質問しました。「天使は火を感じるができるのですか？」聞いてください。これが彼の言っていることなんですよ。覚えていてください。これは霊的な領域なのです。霊を取り扱う霊がこのようなものなのです。この戦いは激しいです。そして悪魔が天使の力よりも大きくなると、悪魔が最初にターゲットにするのは、天使が運んでいる祈りの答えなのです。そして悪魔はそれを天使から奪い、これをカルトや魔術を通して与えるのです。そして人々は言います。「魔術を通して私はこれを得た」と。

ヤコブの中で聖書がなんて言っているのか覚えていますか？すべてよいものは神様からくると言っています。悪魔は人にこれらのものを与えるために、どこから得るのでしょうか？ある人々は子供を授かることができません。彼らは悪魔崇拝者や魔術崇拝をする医者へ行き、そして彼らは妊娠します。だれかその赤ちゃんを与えたのでしょうか？サタンが創造主でしょうか？いいえ、違います！悪魔は最後まで祈らない人々から盗んでいるのです。イエス様は言っています。「途絶えることなく祈りなさい。」と。そしてこう言いました。「神の御子が来るときに、神の御子は信仰をみつけるだろうか。神の御子はそこでまだ待っているあなたをみつけるだろうか。それともあなたはあきらめますか？あきらめたら敵はあなたが祈っていたものを盗むでしょう。」

この男性は言いました。悪魔は祈りの答えを盗んだだけでは彼らは満足しません。悪魔は天使を監禁することにも興味があります。そして悪魔は戦い始めるのです。悪魔は時々、天使をつかみ、東

縛するのに成功します。それが起こるとき、その天使が仕えている地球上のクリスチャンは犠牲者になります。悪魔はそのクリスチャンに何でもすることができます。なぜならそのクリスチャンは霊的に奉仕している天使もいなく、完全に取り残されているからです。

私は彼に言いました。「ということは、天使は悪魔の力によってとらわれの身になる、そういうことですか？」この男性はその時まで彼が言っていたすべてのことについての聖句を知らなかったのです。彼はたくさんの聖句を知りませんでした。彼はただ経験を分かち合っただけなのです。そして彼は言いました。悪魔達は天使を長い間は拘束しません。なぜなら他のクリスチャンがどこかで祈っているからで、増援部隊がくると天使は自由になるのです。もし責任があるクリスチャンの祈りが突破しなければ、天使はとらわれの身のままになります。そして敵は、悪魔達の光の天使を、地上にいるクリスチャンに送るのです。そして偽りがその人に入ることになります。誤ったビジョンや預言、誤ったリーダーシップ、つまり、霊的に間違っただけの決断をしていくのを導くリーダーシップです。また多くの場合、この人は、悪魔へのいかなる種類の攻撃や、束縛にもオープンな状態であることになります。

私は主に聞きました。私は心配し悩みながらその夕食の席を立ちました。そして私は言いました。「主よ、私はこのことを信じたくもないし、信じようともしたくないです。」それは私のすべての自信と安心を取り除きました。主を探し求めたとき、それは10日目の断食のときで、主は以下の二つのことをしました。一つは、主はこの男性が言ったことを間違いのないことをはっきりさせただけでなく、霊的な領域において何が起きているのか、この男性が言えなかったことについてもわかるように、私の心をととても大きく開きました。二つ目に、私たちが打ちのめされるのではなく、私たちが打ち勝つように、物事が起きている時に、私たちは何をやる必要があるのか、です。そして私たちは以下のもの三つのものを知らなければなりません。そして本当にこれらの三つのものに服従することを知る必要があるのです。

一番目は私たちの霊的な戦争に対する武器を使う方法です。聖書ではこれらを神様の武器と言っています。これは私たちの武器ではなくて、神様の武器です。私たちがそれを使うとき、私たちは神様が私たちの代わりに戦うのを認めるのです。二つ目は私たちの霊的生活と天使が私たちの霊に仕えていることとの関係を理解するのです。そして三つ目は、霊的に私たちに影響するもので何が起ころうと必要なのかリードする際に、私たちのハートの中で何が起きているのかもっと敏感になることです。それが私たちに三つ目のものをもたらします。つまり聖霊がもたらすのです。

聖霊は私たちの奴隷となるために来たのではなく、私たちに仕え、私たちに物事をもたらすために来てくださったのです。聖霊は私たちが何が必要なのか神様に伝えるために行ったり来たりするものではありません。それは天使の仕事です。聖霊は私たちのそばにいてくださり、何をやるのかというと、私たち導き、教え、リードし、正しい方法で私たちが祈れるように助けるのです。次のことが霊的な領域で起こるとき、聖霊は私たちに言います。時々私たちが夜中に起こして、祈りなさい、と。そしてあなたは、「いいえまだその時間は来ていません」と言います。そして聖霊は言います。「今、祈りなさい！」それはなぜかというと、聖霊は霊的に何が起きているのかわかっているからです。そして時々、聖霊は言います。「明日、断食しなさい」そしてあなたは言います。「えー、いやです。月曜日から始めます！」

しかし聖霊は霊的な領域で何が起きているのか理解しているのです。私たちは聖霊に敏感になることを学ぶべきなのです。聖霊は私たちが義の道の中で導き、愛された私たちはここにとどまらなければならぬのです。神様に愛された皆さん、私たちはここにとどまらなければいけないのです。多分、明日の朝、霊的な戦いを知りながら、また私たちはどのように霊的に前進し、打開できるのか知りながら、どのように祈ることができるのか、私たちはそれについてはなせるかもし

れません。また一度、靈的に前進突破したものをどのようにして維持できるのか、ということについても話せるかもしれません。一度、私たちがこれを学ぶと、楽しめるようになるのです。そして私たちは一つのことを学びます。それは、戦いは私たちのものではなくて、主のものなのです。ハレルヤ！

立ち上がりましょう！神様がその人々に与えようとしたものをどのくらい受け損ねたか考えて、その人を見てみてください。もしできるのなら、二人、または三人で手をつなぎ合い、お互いにこういい合ってください。「敗北はもうないのです。敗北は必要ないのです。私たちは克服できるのです。克服できるのに十分な力を持っているのです。イエス様がすべてのわざをすでに成し遂げてくださったからです。」主が私たちが克服するのを助けてくださると、お互いに祈りましょう。私たちは負けるべきではないのです。十分な恵みと十分な勝利の力があるのです。



イエス様、ありがとうございます。

Translated to Japanese by yuka leaman, yukagrace5@gmail.com